

受領No. 1602

人間とテクノロジーが調和する持続可能な介護システム — 「ケアの倫理」からの考察

代表研究者 石黒 暢（大阪大学大学院人文学研究科 教授）

How Can We Integrate Care Technology for Future Sustainability of Care System? From Perspective of Ethics of Care

Representative Nobu Ishiguro (Professor, Graduate School of Humanities, Osaka University)



研究概要

社会の高齢化に伴い、介護にロボットや ICT などの科学技術を活用する流れが加速している。しかし、「生産性の向上」や「効率化」といった市場のロジックを「ケアのロジック」をもつ介護に持ち込む矛盾は、介護政策と実践のなかで乗り越えることができていない。本研究は介護テクノロジーの普及と活用が進んでいるデンマークにおいて、人間と介護テクノロジーの調和がどのような制度的枠組みのなかでどのように介護実践に落とし込まれ実現されているのかを「ケアの倫理」の視点から実証的に明らかにすることが目的である。科学技術が人間の生活の質を向上させケアの本質を損なわない形で介護システムに統合された社会を創るためのアプローチを示すことを目指す。研究計画は (1)文献研究、(2)海外調査から構成され、海外調査では主にデンマークの各ステークホルダーへのヒヤリング調査・フォーカスグループと介護現場における参与観察を行う。研究成果は学会報告、論文執筆、国際研究セミナー開催によって発信し、社会に還元する。日本の介護ロボット政策と実践に示唆を与え、科学技術を介護分野の社会課題解決につなげる知見を提供することを目指す。